

ア・ラ・カ・ル・ト (1)

「ラグビーW杯」に熱き思いを込めて・・・

—石中8回生の首藤さんが「ラグビー賛歌」を制作—

日本代表がラグビー大国南アフリカに勝利し、「五郎丸ポーズ」に沸いた「ラグビーワールドカップ (W杯)」イングランド大会から4年、いよいよ今年の9月にアジアで初めてとなる日本大会が開幕します。

このW杯日本大会を盛り上げようと、月刊誌「ラグビーマガジン」の初代編集長を務めた首藤光春さん(石中8回生)が、母校である青山学院大学ラグビー部時代の仲間の皆さんらとラグビー賛歌「勇者たちのナイストライ」を制作しました。

首藤さんは、日本代表の海外遠征に同行取材した際、イングランドなどで入場行進やハーフタイム時にラグビーソングが大合唱されるのを目の当たりにし、「日本でもラグビー場を盛り上げるラグビーソングが欲しい」と考えていました。そして、日本国内開催決定を機に歌を作ることを決意して自ら作詞、作曲は作曲家下山英二さんが担当し、知人らの協力を得て3年がかりで完成させました。

歌詞には、「ワン・フォア・オール、オール・フォア・ワン」

(一人はみんなのために、みんなは一人のために)のほか、試合終了後に互いの健闘を讃え合うノーサイドの精神などを盛り込み、

マーチ調で選手たちの士気を高める一方、ファンも親しめる楽曲になっています。

この賛歌が完成後、今年の1月6日にNHKサンデースポーツで紹介されるや、YouTube等々各方面で話題となっており、首藤さんは、「国内の各種大会でもラグビーソングとして歌われるようになれば嬉しい」と話している、日本ラグビーフットボール協会をはじめ、関係機関の理解と協力を得ながらさまざまな形でPRに努めていくことにしており、国民的な歌としての広がり、定着に期待を寄せています。

石巻かほく提供 (2019年1月19日)



YouTube で曲を聴けますよ!
<https://www.youtube.com/watch?v=wVmlTegshJ0>



構成・文 岩崎久仁夫 (18回生)

一 熱き血潮 燃ゆる闘魂 すべてを込める 楯円球 今ぞ起きて 勇者ラグーマン フィフティーンの絆 讃えよう ワンフォアオールでナイストライ!	二 肉弾相討つ 心の火花 果敢なタックル がっちり スクラム 今ぞ決める 勇者ラグーマン フェアプレー精神 讃えよう ワンフォアオールでナイストライ!	三 響き渡る鉄笛 スタンドまで 尊重すべきは レフェリング 激闘エンドのノーサイド 生まれる友情 讃えよう ワンフォアオールでナイストライ!
--	---	---

石巻の未来へ向かって!

<p>かながわの地酒専門店</p> <p>小料理 ほおづき</p> <p>神奈川県横浜市中央区住吉町5-63 TEL.045-633-2627</p>	<p>地域の未来と環境を考える</p> <p>若生工業株式会社</p> <p>—ISO9001・14001 認証登録— —OHSAS18001 認証登録—</p> <p>〒986-0871 石巻市清水町2丁目3番3号 TEL 0225-94-1111(代) FAX 0225-22-3992 http://www.wakoinc.co.jp</p>	<p>都市ガス(天然ガス)・プロパンガス</p> <p>石巻ガス株式会社</p> <p>石巻市中央2-7-38 TEL.0225 (96) 3007</p>	<p>美味しい! を笑顔でお届けします。</p> <ul style="list-style-type: none"> *野菜のサブウェイ *お肉のペッパーランチ *クレープのディッパードン *ホテルレストラン事業 <p>株式会社 ゼンインターナショナル</p> <p>石巻市西山町3-1 電話0225-94-6792 代表取締役 木村美保子</p>
---	---	---	--

ア・ラ・カ・ル・ト（2）

海街生まれの「石巻こけし」初めての手描きで、世界的人気トイとコラボ

「石巻こけし」は、東日本大震災で被害を受けた石巻を元気にするような新しい産物をという思いから、石巻市立町の林屋呉服店の若旦那でこけし作家の林 貴俊さんが2015年頃から作り始めました。赤と青が基調のトリコロールカラーに魚模様をあしらったものがスタンダードデザインで、他にも様々な色、形、モチーフが有ります。

この「石巻こけし」は、新たな石巻の土産物として県内外から人気を集めていますが、このたびは世界的に愛されているクマ型ブロックタイプフィギュア「ベアブリック」とコラボレーションしました。ベアブリックは「デジタルなイメージのテディベアを作る」というコンセプトで、多くの著名な作家や有名企業とコラボ商品を送り出していますが、今回林さんが絵付けを手掛けたのは、こけしと同様に木製、初めての手描きで「コケブリック」と呼ばれ、昨年末に100体が限定販売されました。林さんは「世界的なアーティストと名を連ねることができて光栄、石巻こけしが世界に羽ばたくきっかけだけでなく、石巻が注目されるチャンスになればうれしい」と話しています。



石巻日日新聞提供
(2018年11月30日)

構成・文 岩崎久仁夫（18回生）

『懐かしい石巻の風景画カレンダー』 絵を届けたい！プロジェクト（石巻市）

石巻市で父の跡を継ぎ、東北プランニングという広告代理店を営んでいる熊倉一徳（石中35回生）と申します。前社長でH20年に他界した父は会社経営の傍、趣味で油絵を描いていました。風景画が好きで、特に石巻地方の自然や街をテーマにした絵画をたくさん残してくれました。

震災で、当地方の風景は一変しました。震災後、父が残してくれた懐かしい時代の石巻の風景画を、震災で傷ついた地元の皆様の少しでも役に立たせたいと思い立ち、H26年に地元の仲間と『絵を届けたい！プロジェクト』という団体を立ち上げ、父の描いた60年代～90年代の石巻の風景画をカレンダーにして、石巻市・東松島市・女川町の仮設住宅、全戸に無償でお配りする活動を5年に渡り、続けてきました。日々の生活の中で、ふとカレンダーを見ると「懐かしい震災前の石巻の風景」がそこにある。懐かしいと思う気持ちが少しでも皆様の安らぎになればとの思いを込め、仮設全戸にお届けしてきました。お陰様で多くの反響を頂きました。

今年で当地方の仮設団地が全て閉鎖されることを受け、昨年末の配布でプロジェクトは一旦、終了となりました。それでも根強い父の絵のファンの皆様からの要望もあり、『懐かしい絵のカレンダー』の制作は続けようと思っています。

父が、ただただ、この地方の風景が好きで描いた、その絵たちが、皆様の何かに役立つのであれば、やろう！と思っています。今年2019年の絵のカレンダー。在庫まだございます。ご希望の方は、事務局である当社までお問い合わせ下さいませ。

＜カレンダー1部：1,080円税込＞

【事務局情報】

『絵を届けたい！プロジェクト』事務局

〒986-0814 石巻市南中里4-6-6 2F 東北プランニング内

TEL. 0225-95-0352

営業時間／9:00～17:30 日曜・祝日休み



構成・文 熊倉 一徳(35回生)